

知多北部広域連合 在宅介護実態調査報告書 結果概要

令和5年5月

在宅介護実態調査実施概要

1 調査の目的

知多北部広域連合の介護保険事業計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）を策定する上での基礎資料とするため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するためにアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方（知多北部広域連合管内にお住まいの方）

3 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

4 調査期間

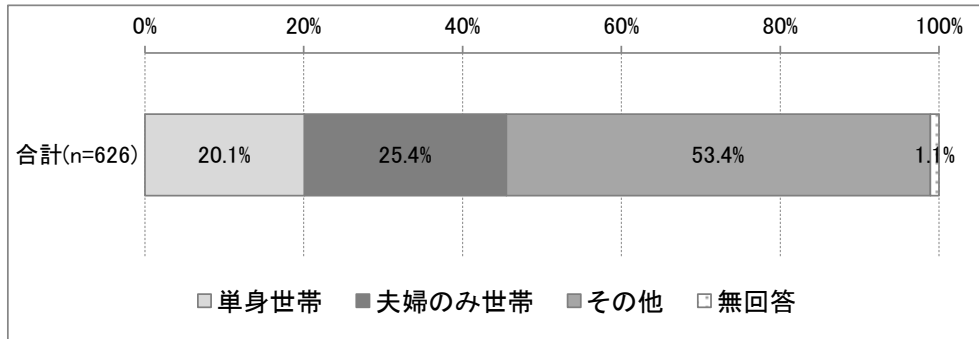
令和4年12月1日（木）～令和5年3月14日（火）までの期間

5 調査人数

626人

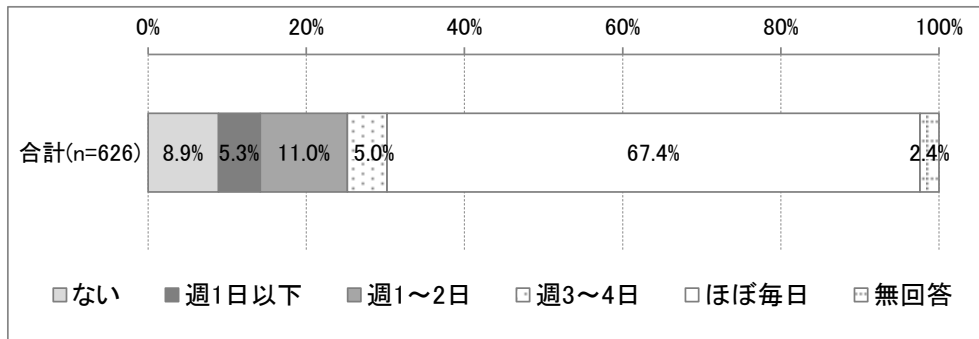
アンケート対象者の個人属性

世帯類型



- アンケート対象者の世帯類型は、「単身世帯」(20.1%)、「夫婦のみ世帯」(25.4%)、「その他」(53.4%)となっています。

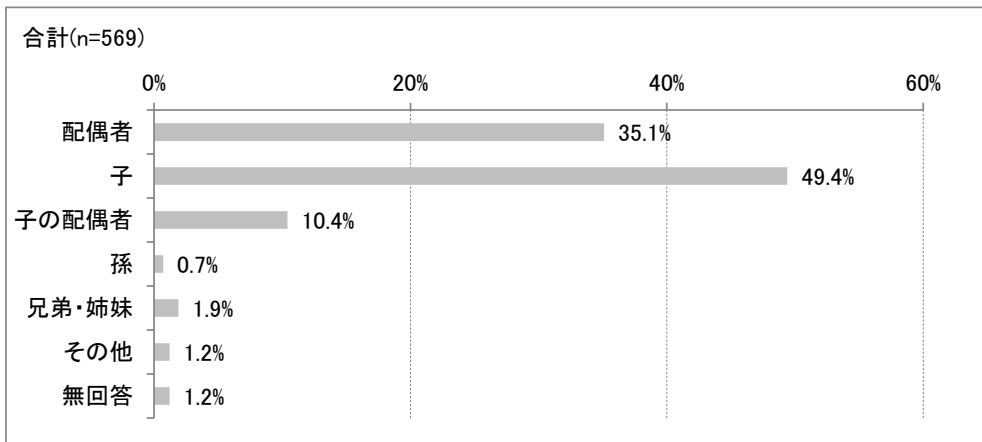
家族等による介護の頻度



- 家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日」(67.4%)が最も高くなっています。

介護者の個人属性 (在宅介護実態調査)

主な介護者の本人との関係

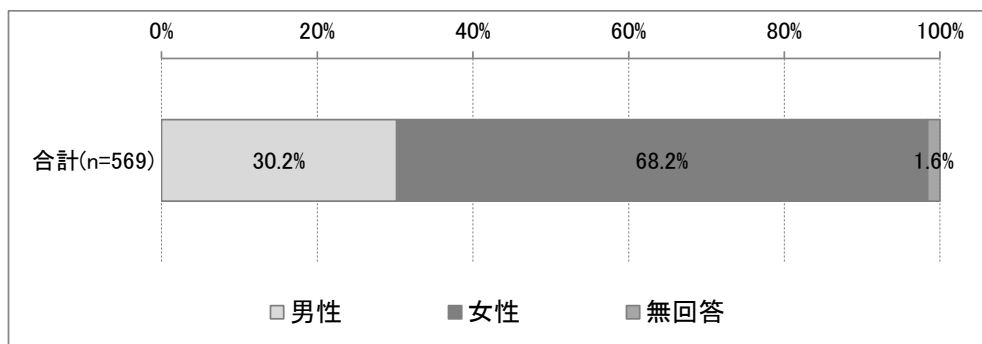


□ 介護者の個人属性をみると、「子」(49.4%)が最も高く、これに「配偶者」(35.1%)が続いています。

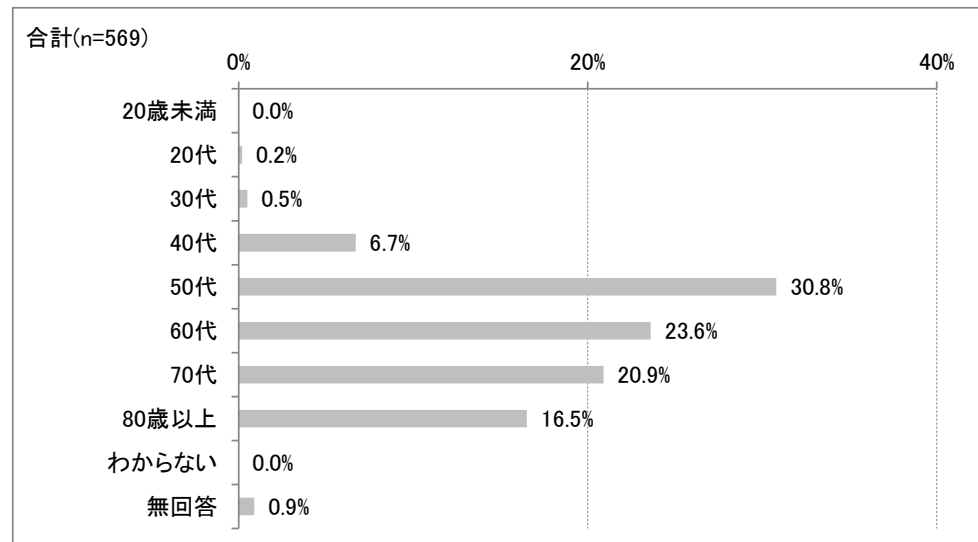
□ 性別をみると、「男性」が30.2%、「女性」が68.2%となっています。

□ 年齢をみると、「50代」(30.8%)が最も高くなっています。これに「60代」(23.6%)、「70代」(20.9%)、「80歳以上」(16.5%)が続いており、介護者の高齢化が進んでいます。

主な介護者の性別



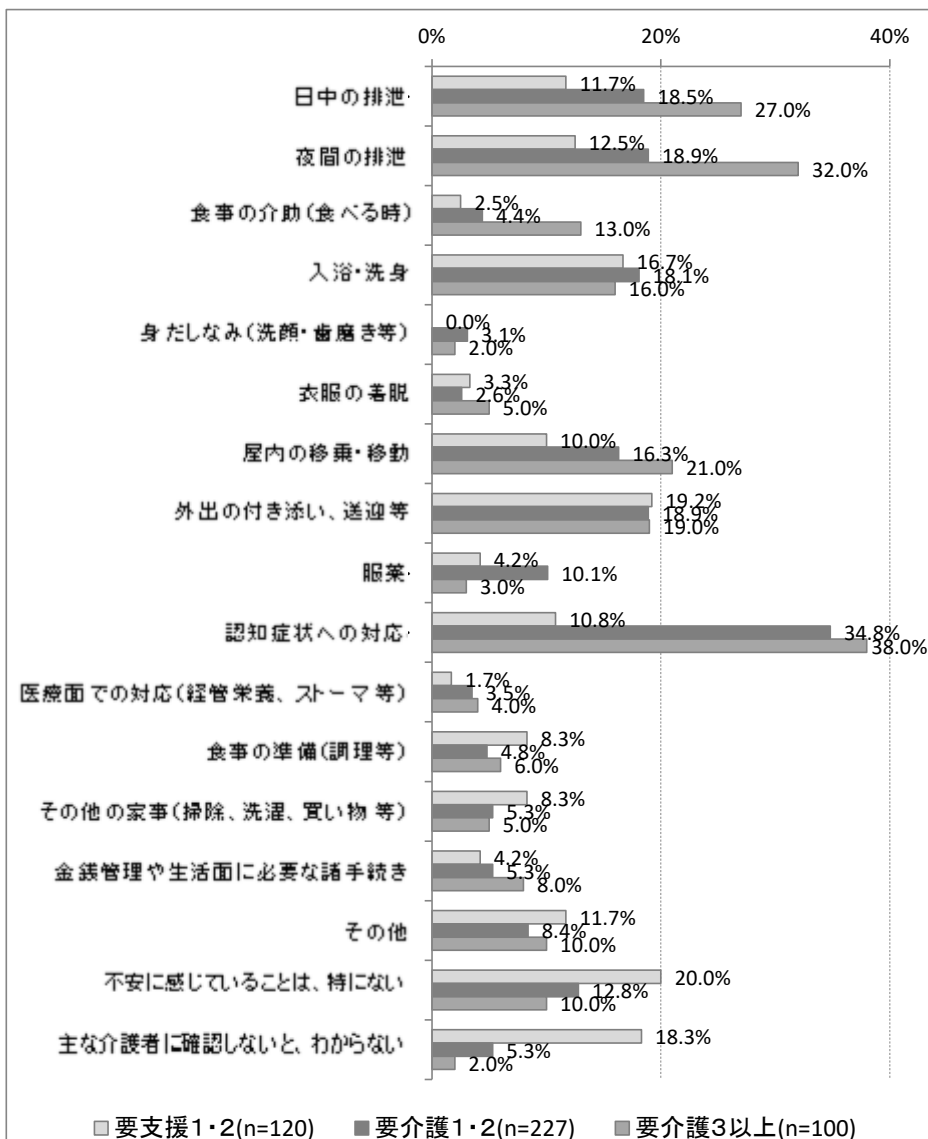
主な介護者の年齢



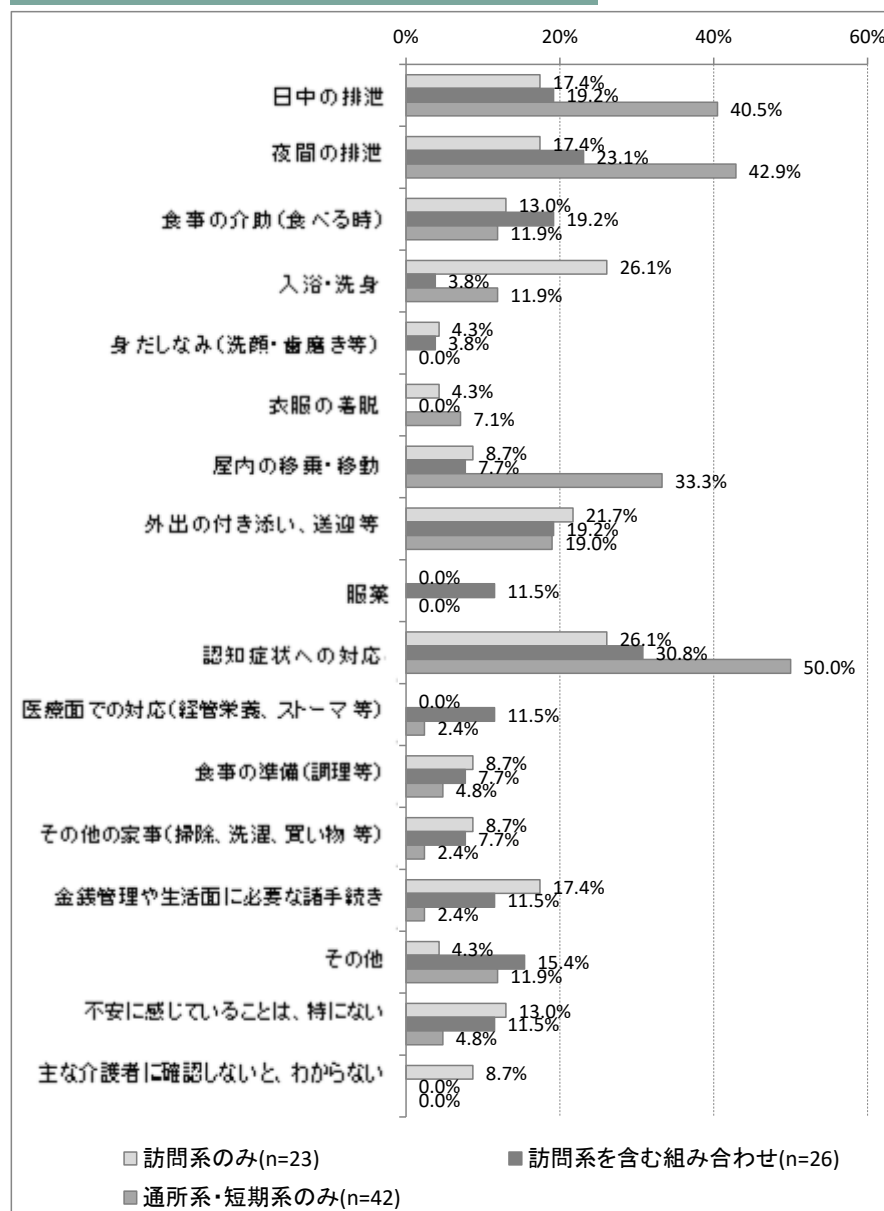
在宅介護での不安要因

(比較:計画書P33)

要介護度別



サービス利用別 (要介護3以上)



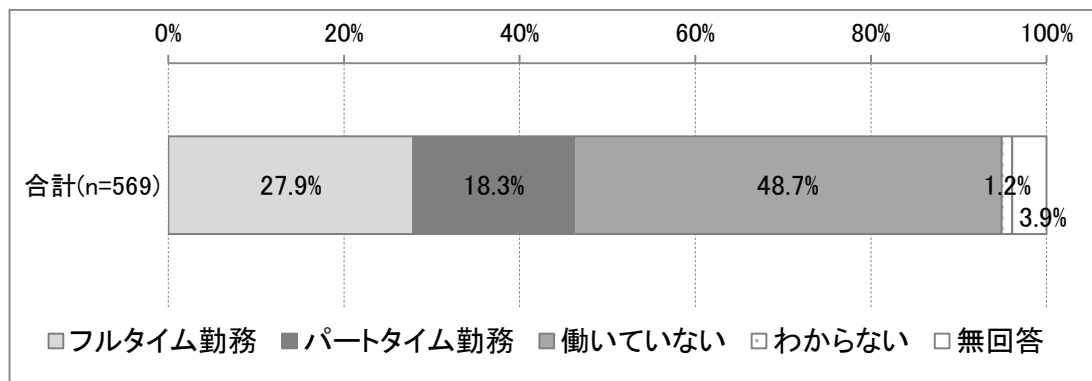
□ 在宅介護での不安要因は、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」「医療面での対応」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が要介護度が上がるにつれて高くなっています。

□ 「認知症状への対応」では、要支援と要介護では大きな開きが見られます。

□ サービス利用別にみると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」は、「通所系・短期系のみ」で高くなっています。

介護者の就労について

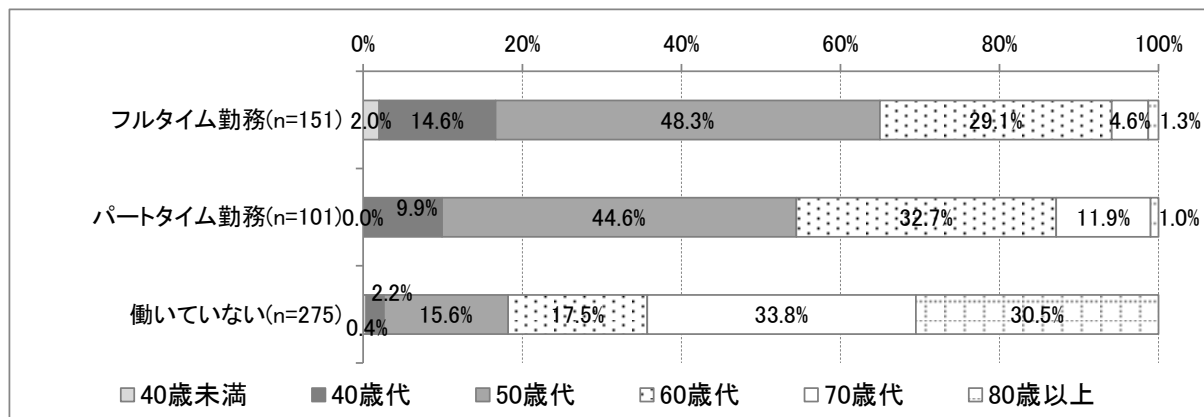
介護者の就労状況



□ 就労状況をみると、「働いていない」(48.7%)が最も高く、これに「フルタイム勤務」(27.9%)、「パートタイム勤務」(18.3%)が続いています。

□ 就労状況別に年齢層をみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」(48.3%)が、「パートタイム勤務」では「50歳代」(44.6%)が、「働いていない」では「70歳代」(33.8%)が最も高くなっています。

就労状況別・主な介護者の年齢

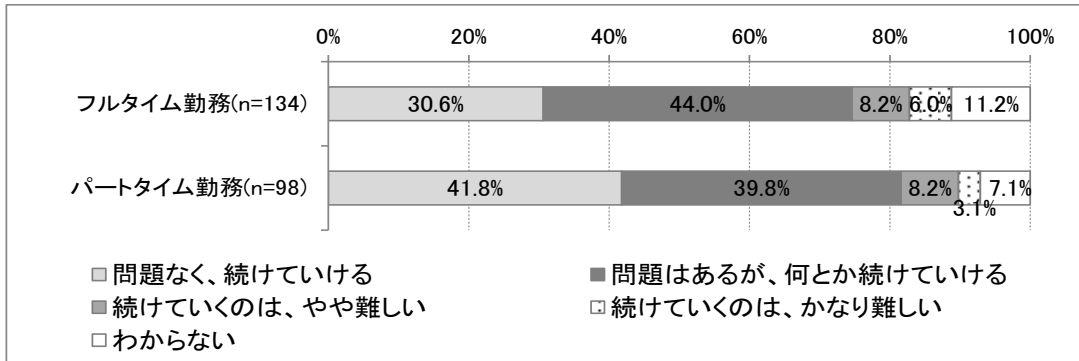


就労継続見込み

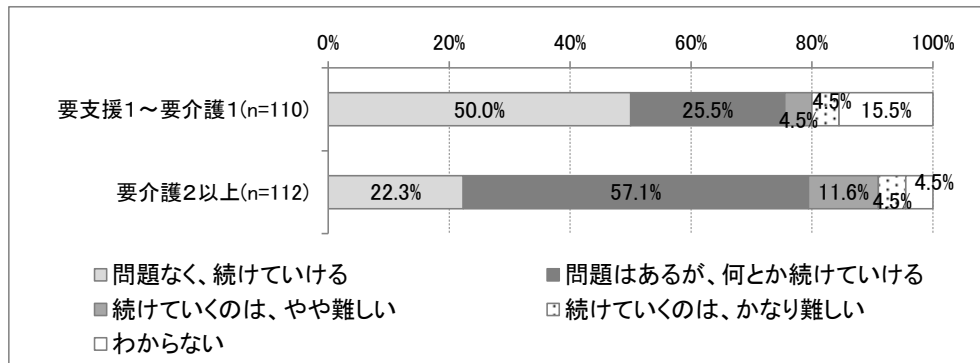
介護のための働き方の調整

(比較:計画書P34)

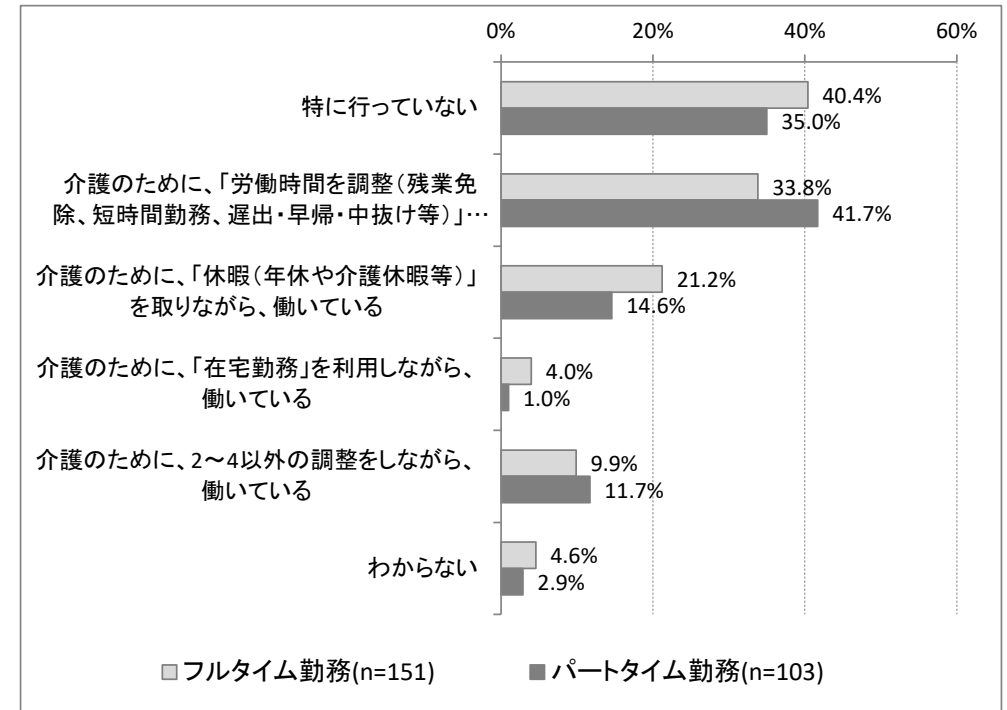
就労状況別



要介護度別 (フルタイム勤務+パートタイム勤務)



就労状況別 (フルタイム勤務+パートタイム勤務)



□ 今後就労継続が可能かどうか尋ねると、フルタイム勤務では「問題はあるが、何とか続けていける」(44.0%)が、パートタイム勤務では「問題なく、続けていける」(41.8%)が最も高くなっています。

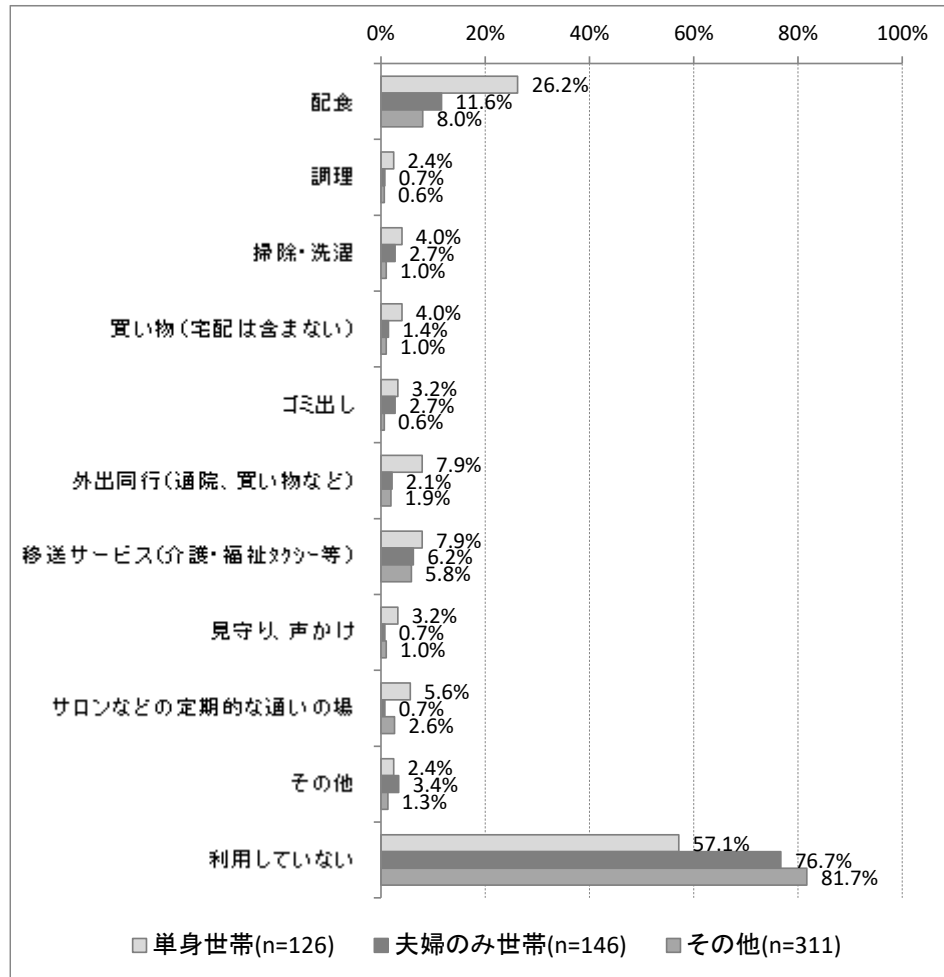
□ 「フルタイム勤務」では「特に行っていない」(40.4%)が、「パートタイム勤務」では「介護のために「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等)」(41.7%)がそれぞれ最も高くなっています。

□ 要介護度別でみると、「問題なく、続けていける」の割合は、要介護1以下だと50.0%ですが、要介護2以上だと22.3%となっています。

保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

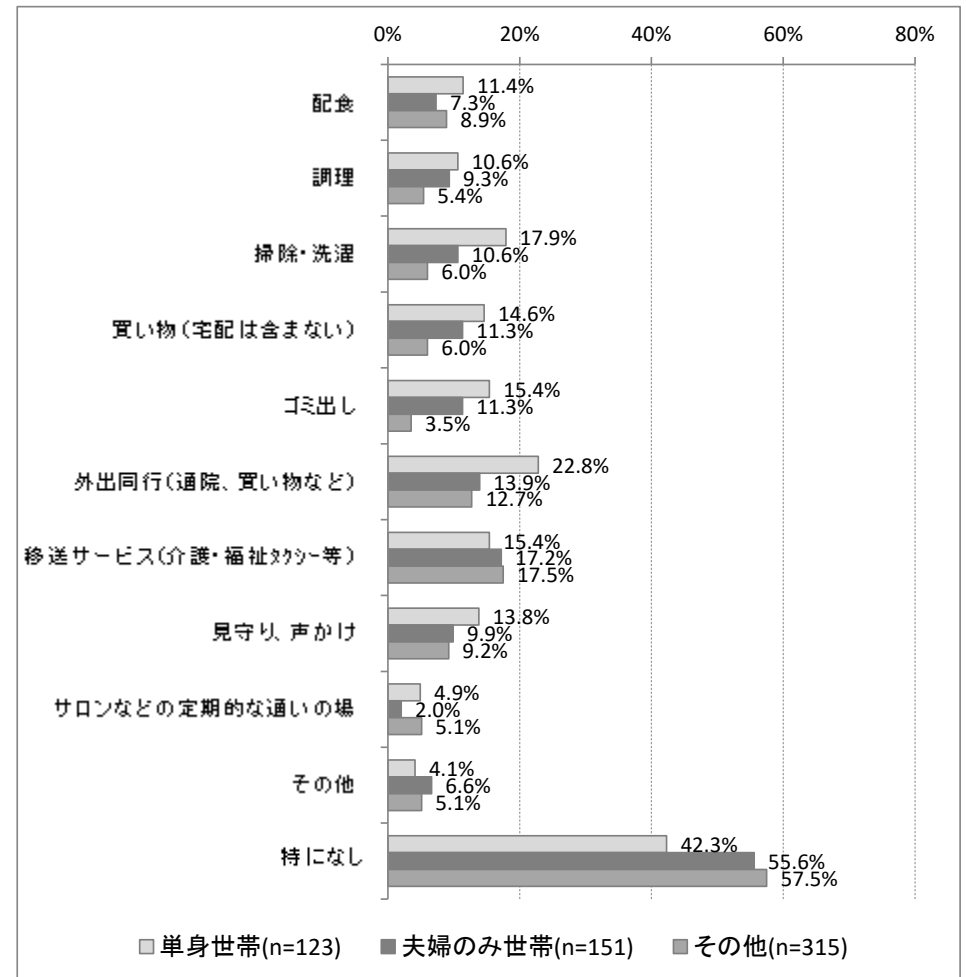
(比較:計画書P35)

世帯類型別保険外の支援・サービスの利用状況



- 「単身世帯」では「配食」の割合が、他の世帯類型よりも高くなっています。
- 「夫婦のみ世帯」、「その他」では「利用していない」が高くなっています。

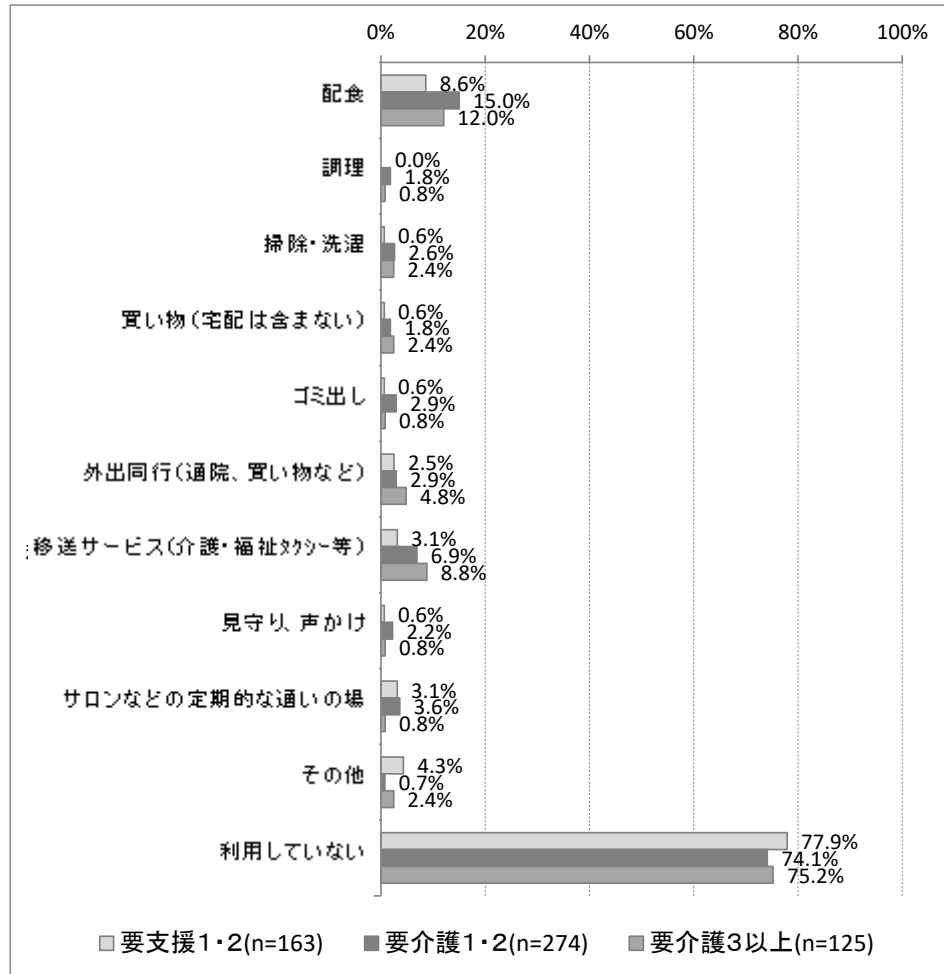
世帯類型別在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



- 「単身世帯」では「外出同行」の割合が、他の世帯類型よりも高くなっています。
- 「夫婦のみ世帯」、「その他」では「移送サービス」が高くなっています。

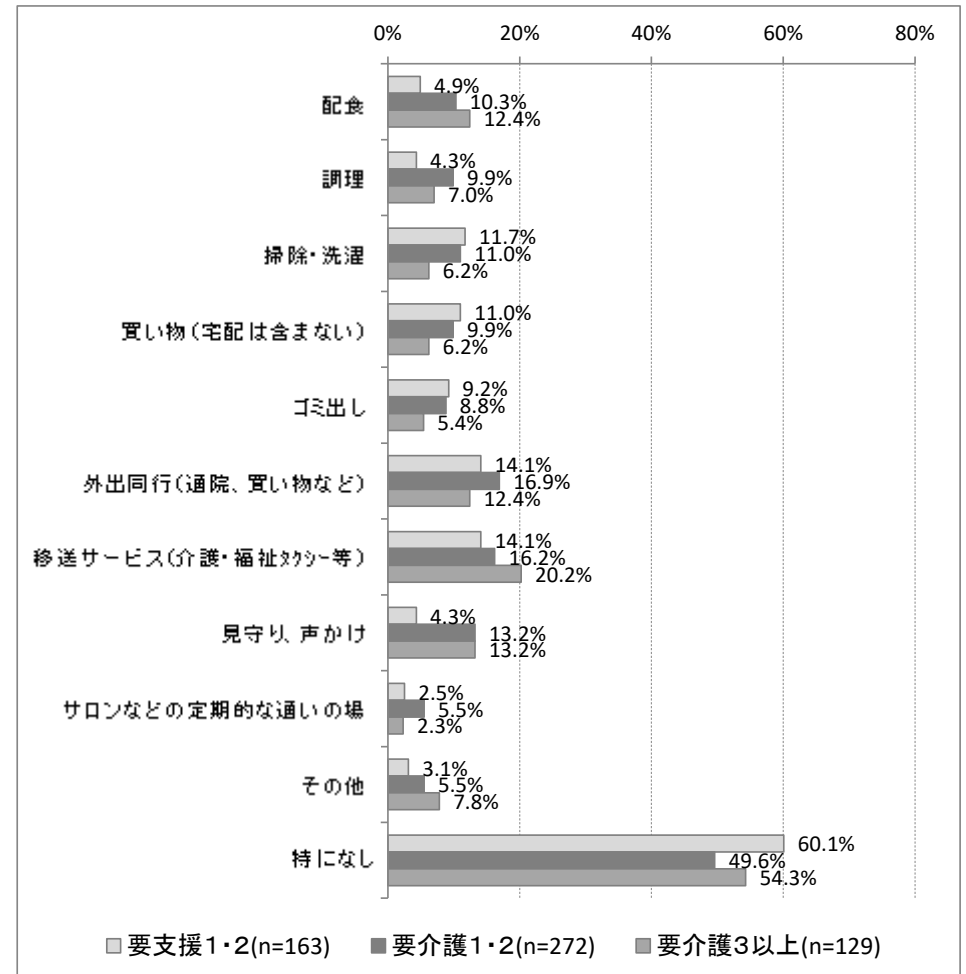
保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

要介護度別保険外の支援・サービスの利用状況



- 「要介護3以上」では「移送サービス」の割合が、他の介護度よりもやや高くなっています。
- 「要介護1・2」では「配食」の割合が、他の介護度よりもやや高くなっています。

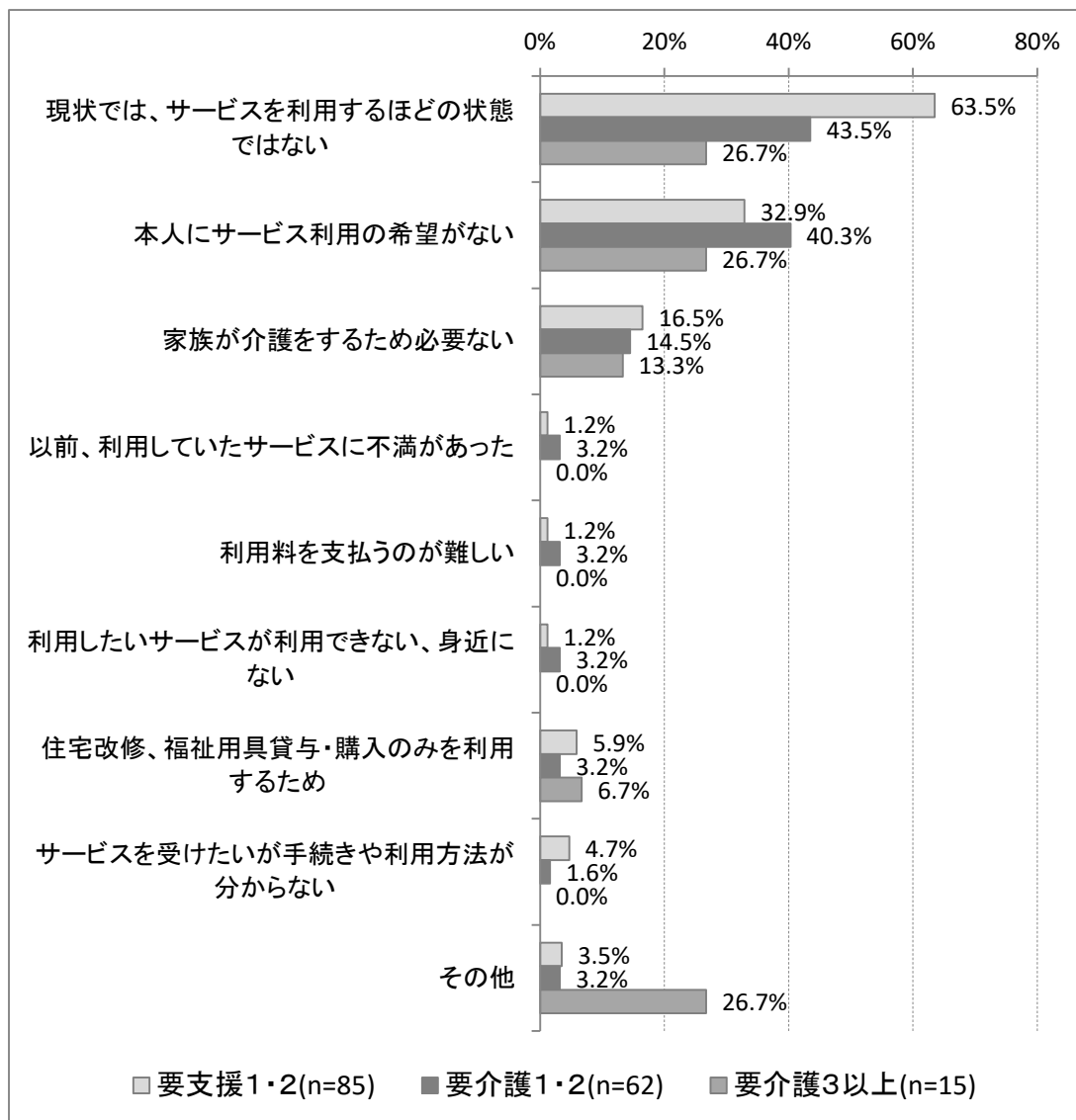
要介護度別在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



- どの介護度でも、「外出同行」「移送サービス」の割合が高くなっています。
- 特に「要介護3以上」では「移送サービス」が2割以上となっています。

サービス未利用の理由

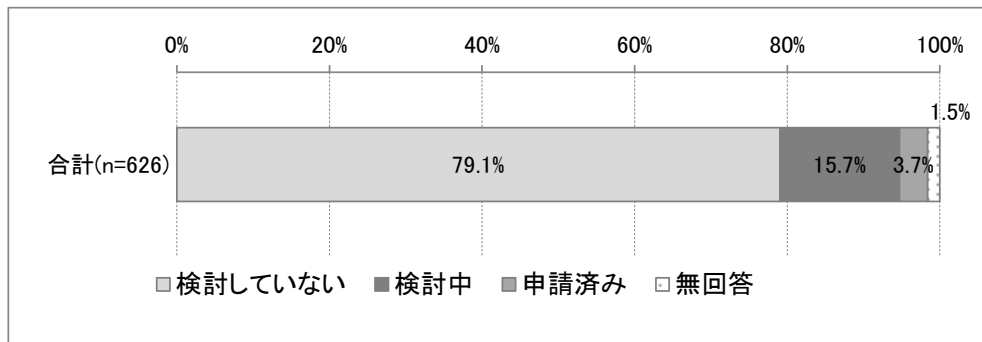
要介護度別



- サービス未利用の理由としては、要介護度にかかわらず「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が高くなっています。
- また、要介護3以上では「本人にサービス利用の希望がない」も高くなっています。

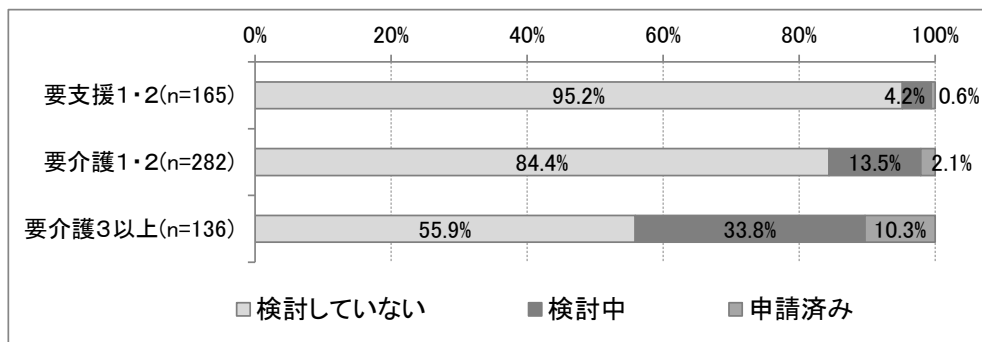
施設等の検討状況

全体



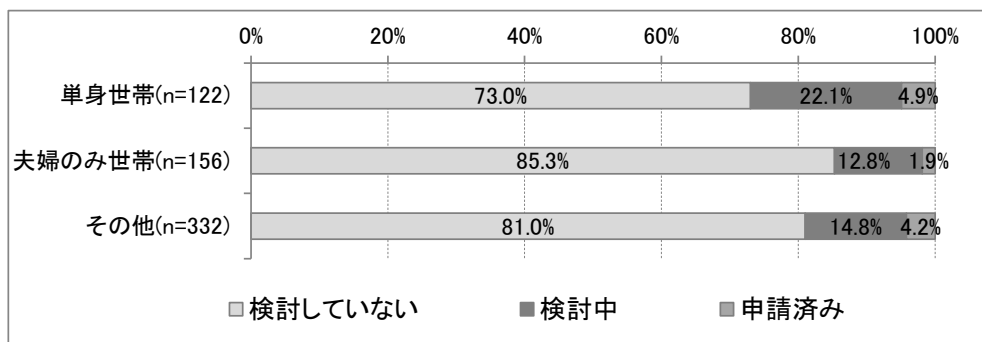
□ 施設等の検討状況は、「検討していない」(79.1%)、「検討中」(15.7%)、「申請済み」(3.7%)となっています。

要介護度別



□ 要介護度が上がるにつれて「検討中」、「申請済み」が高くなっています。

世帯類型別



□ 「単身世帯」で「検討中」が高くなっています。

サービス別・この1年間における事業所の人材確保状況

